



# 前区政の負の遺産 児童館・ゆうゆう館の全館廃止計画 撤回!!



杉並区議会で発言する岸本聡子区長

岸本区長が新方針発表

- 児童館 7 館の増設・機能強化
- ゆうゆう館一部存置・コミふらの高齢者利用拡大



廃止方針が見直され存置が決定したゆうゆう西荻北館 (区HPより写真転載)

党杉並区議団は前区政の施設再編整備計画が発表されてから、約10年にわたり問題点を追及してきました

第4回定例会に、児童館の増設・機能強化や、ゆうゆう館の一部存置とコミュニティふらっとでの高齢者利用の拡大などが盛り込まれた「総合計画等の一部修正(案)」や「杉並区子どもの居場所づくり基本方針(案)」等が報告されました。

前・田中区政のもと、児童館・ゆうゆう館の廃止が強行されてきましたが、岸本区長が今回発表した各計画案は、児童館、ゆうゆう館の全館廃止計画を明確に撤回。児童館については廃止された地域に7館増設し、既存の児童館の機能を強

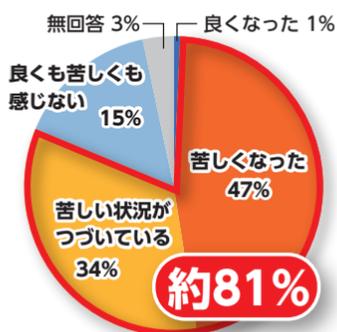
化。ゆうゆう館については、住民の意見をふまえ、一部のゆうゆう館を残すとともに、コミュニティふらっとの高齢者利用を拡大する内容が盛り込まれました。杉並区政の大きな方針転換です。

日本共産党区議団は、児童館・ゆうゆう館の全館廃止方針が示された当初から、子どもの居場所と高齢者の拠点をまもるために、10年以上にわたって廃止撤回を求め、区民のみなさんと取り組んできました。

## 8割から生活苦の声

くらし・区政への要望アンケート中間集計

みなさんのご協力ありがとうございました



昨年から党区議団が行っている「くらし・区政への要望アンケート」には、12月26日現在で1,416件(郵送1,240件、WEB176件)の回答が寄せられています。暮らし向きについての質問に「苦しくなった」と答えた方は46.8%、「苦しい状況が続いている」は33.8%、合わせて80.6%となりました。多くの方が生活苦に直面している、かつてない事態が浮き彫りになりました。

みなさんから届いた切実な声は、申し入れや議会質疑、今後の政策提案などに活用してまいります。

## 物価高騰対策を申し入れ

家賃・光熱費の補助、国保料引き下げを!!



11月11日に「深刻な物価高と税・各種保険料負担による生活苦への緊急対策を求める要望書」を岸本聡子区長に手渡しました。アンケート

に寄せられた深刻な区民の声を紹介し、光熱費や国民健康保険料などの負担軽減、プレミアム商品券の発行、中小企業支援、家賃助成の早期実施、教育費の保護者負担軽減、出産・育児の負担軽減などを要望しました。



## 非課税世帯への3万円給付補正予算可決

12月25日の臨時議会で、非課税世帯への3万円給付、及び同世帯の子ども一人当たり2万円給付の補正予算が可決。1月下旬より順次支給が開始されます。



コールセンター ☎0120-378-233



- 「食費を抑えた生活をしているが健康に害をきたしそう」
- 「野菜・肉・魚が買えない、菓子パンばかりで糖尿病になる」
- 「国民健康保険料が殺すつもりかってくらい高額」



寄せられたアンケートの回答(一部)

- 「物価高騰により食費の節約を続け、心身、身体的に元気がなくなった」
- 「失業中に物価高騰…節約しても節約しても厳しい状況が続いている」
- 「わずかな貯金が毎月少なくなっている、何年か先は家賃払えずホームレスになる不安」



アンケートまだまだ実施中です。お声をお寄せください⇒



くすやま美紀(団長)  
☎080-5531-8236  
荻窪5-15-19-704



山田耕平(幹事長)  
☎090-9973-0941  
善福寺2-2-11



富田たく(副幹事長)  
☎090-9001-5249  
高円寺南3-59-7-301



酒井まさえ  
☎090-9325-5676  
堀ノ内1-9-7



小池めぐみ  
☎090-5516-3284  
阿佐谷北1-3-9



和氣みき  
☎090-4154-9786  
浜田山3-26-27富貴ビル1F

## 物価高騰による深刻な生活苦への対応を



富田たく議員

一般質問

アンケートに寄せられた区民の深刻な生活苦の実態を紹介し、最大限の物価高騰対策を行うことを求めました。岸本区長は「区として、区民にとって今何が必要かしっかりと見極め、区民生活を支えるために必要な事業については、あらゆる財源を念頭に入れながら実施してまいります」と答弁。また、区民アンケートではプレミアム商品券等の実施を求める声が多数寄せられたことを紹介し、杉並区でも速やかに実施するよう求めました。

## 女性の選択肢が保障される杉並区に向けて



小池めぐみ議員

一般質問

アンケートに寄せられた声から、経済的な理由から出産を選択できない女性がいることを示し、妊娠・出産費用の助成や相談窓口の拡充、緊急避妊の情報提供などを求めました。区は年内を目途に、低所得等の妊婦に対する初回産科受診に要する費用の助成制度を創設すると答弁。また、女性の多様な生き方と選択肢を保障する自治体を目指すことを求めました。区長は「人生における自己決定ができること、多様な選択肢を持てることはすべての人にとって重要かつ保障されるべき権利である」と考えました。

## 学童クラブ

### 春・夏・冬休み時期の配食サービス実施へ（7月から）



今年7月から学童クラブ利用者（希望者）へ、夏休みなど学校の長期休業期間中の配食サービス（弁当）が始まります。保護者からの要望も多く、党区議団も申し入れなどで、配食サービスの実施を提案してきました。

## ハラスメント防止へ

### 共産・立憲・公明・維無の4会派が呼び掛け、ハラスメント講演会開催 7割超の議員が参加

杉並区議会では、本会議や委員会の中で、ハラスメントに類する発言やヤジが頻発しています。区職員団体からは、職員が安心して管理職に昇任できる環境を整えるためにも、区議会におけるハラスメント対策の検討を求める要望書が区長に提出されています。

こうした状況のもと、複数の会派から、議会全体でのハラスメント研修実施を求める声があがりましたが、開催に関わる予算をめぐる、交渉会派（6会派）間の合意が得られず、共産、立憲、公明、維無の幹事長が連名で全議員に講演会への参加を呼びかけました。

12月5日に開催された講演会には48名中34名と7割を超える議員が参加。活発な意見や質問が出され、ハラスメントに関する実態調査の必要性も訴えられました。引き続き、多くの会派と連携し、実効性ある対策を進めていきます。



2024年12月5日のハラスメント講演会の様子

## 「国際社会と将来世代に1.5℃目標の責任を果たす第7次エネルギー基本計画改定を求める意見書」1票差で可決 杉並区議会から国へ提出

国の第7次エネルギー基本計画の改定にあたり、杉並区議会から意見書提出を求める議員提出議案が提案され継続審査となっていました。今回、再度審査が行われ、委員会で共産党区議団は賛成しましたが、賛成少数で不採択に。しかし、本会議では賛否が一転、賛成24・反対23の1票差で可決しました。気候危機対策を推進するうえで画期的な結果です。杉並区議会から国に対して意見書が提出されました。

### ■議員提出議案第3号 国際社会と将来世代に1.5℃目標の責任を果たす第7次エネルギー基本計画改定を求める意見書(賛成24・反対23)

会派・人数	自民	共産	立憲	公明	無都	維無	生ネ	れ耕	安心	参政	革新	セン	緑グ	杉わ	共生	無	杉ク	f r
賛否	×	○	○	×	×	○3	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×

・【賛否】○/賛成、×/反対、欠/欠席。「維無」は1名が議長のため、賛否は3名のみ表明。  
 ・【会派の正式名称】自民/杉並区議会自由民主党、共産/日本共産党杉並区議団、立憲/立憲民主党杉並区議団、公明/杉並区議会公明党、無都/無所属、都民ファーストの会、維無/維新・無所属議員団、生ネ/区議会生活者ネットワーク、れ耕/れいわを耕す、安心/安心・安全杉並の会、参政/参政党杉並、革新/都政を革新する会、セン/杉並をセンタク致し候、緑グ/緑の党グリーンズジャパン、杉わ/杉並わくわく会議、共生/共に生きる杉並、無/無所属（堀部）、杉ク/区政杉並クラブ、fr/far right.

## ワークショップが開催されます！（柿木図書館周辺施設）

検討対象施設 柿木図書館、四宮保育園、ゆうゆう四宮館、四宮区民集会所

老朽化が進む柿木図書館及び周辺施設の建て替えの在り方について、ワークショップ等を開催し2025年度から2026年度にかけて検討が行われます。みなさんの声を届けるため、ぜひご参加ください。

## デザイン会議にご参加ください

### 西荻窪・高円寺・南阿佐ヶ谷（成田東）

都市計画道路事業に着手している補助132号線（西荻窪）、補助221号線（高円寺）と、補助133号線（中杉通りの延伸計画がある南阿佐ヶ谷・成田東）地域で、「(仮称)デザイン会議」が開催されています。参加者から運営委員を募集し、会議の持ち方やテーマを委員が提案して区職員とともに進めています。さまざまな考え方がある住民が同じ場に集まって疑問や懸念を出し合い、地域に関する思いを話し合うことで、地域課題に対する相互理解が深まっています。該当地域の方は、ぜひご参加ください。詳しくは『すぎなみボイス』をご覧ください。



## 防災対策が前進！

### エレベーターに防災備蓄ボックスを設置

震災救援所の備蓄品の拡充や防災マップの全戸配布など、能登半島地震以降、防災対策が前進しています。昨年末には、区役所や区民センター等のエレベーター内に、防災備蓄ボックスが設置されました。党区議団が粘り強く求めてきたもので、震災時、エレベーターに閉じ込められた時に必要となる防災用品が格納されています。



※区役所経理課の許可を受けて撮影しています。

## ひどすぎる!! 田中ゆうたろう議員の暴言

第4回定例会で田中ゆうたろう議員は、昨年度からおこなっている区民参加型予算を引き合いに出し「こういうばかげた暇つぶしはただちにやめるよう求めるがどうか」と発言しました。今年度は防災・減災をテーマに区民等から企画を募集し83件の提案がありました。区民の区政参画を促す重要な事業を、このような言葉で侮辱することは許せません。また、区職員の服装などを取り上げ「職員の方で立ちの影響ではないのか」と、区長と職員を侮辱しました。個人の尊厳を貶める暴言が続き、議会の品位が損なわれています。